

JASDAQ

(証券コード:5162)

2011年3月期 決算説明会



2011年5月25日

1. 2011年3月期決算の実績

2. 2012年3月期の見通し

3. 第10次三ヵ年中期経営計画

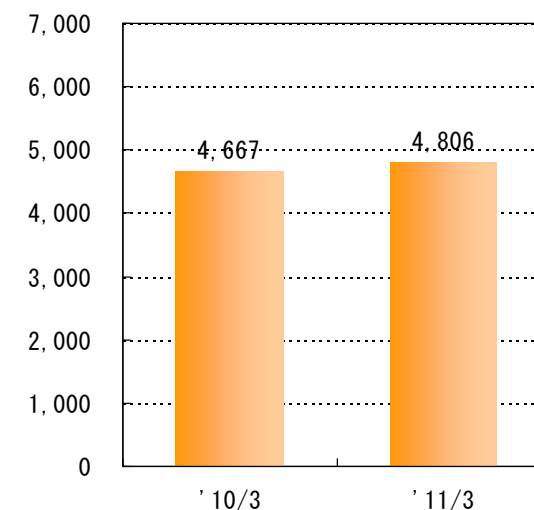
連結決算実績

(単位:百万円、%)

| | 2010年3月期 | | 2011年3月期 | | |
|-------|----------|-------|----------|-------|-------|
| | | 構成比 | | 構成比 | 前期増減率 |
| 売上高 | 4,667 | 100.0 | 4,806 | 100.0 | 3.0 |
| 売上総利益 | 1,069 | 22.9 | 1,222 | 25.4 | 14.4 |
| 営業利益 | 125 | 2.7 | 161 | 3.4 | 28.9 |
| 経常利益 | 91 | 2.0 | 117 | 2.4 | 28.0 |
| 当期純利益 | 41 | 0.9 | 21 | 0.5 | ▲47.8 |

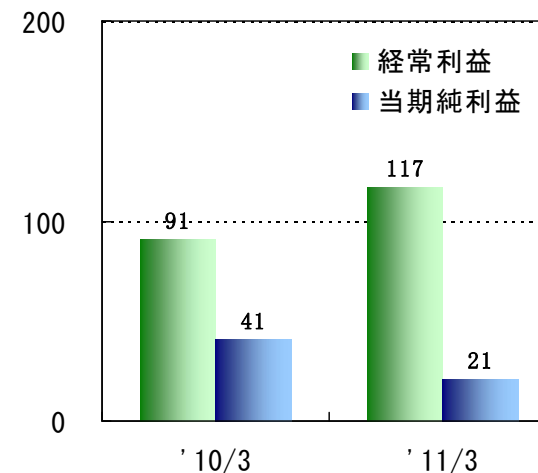
(単位:百万円)

連結売上高実績



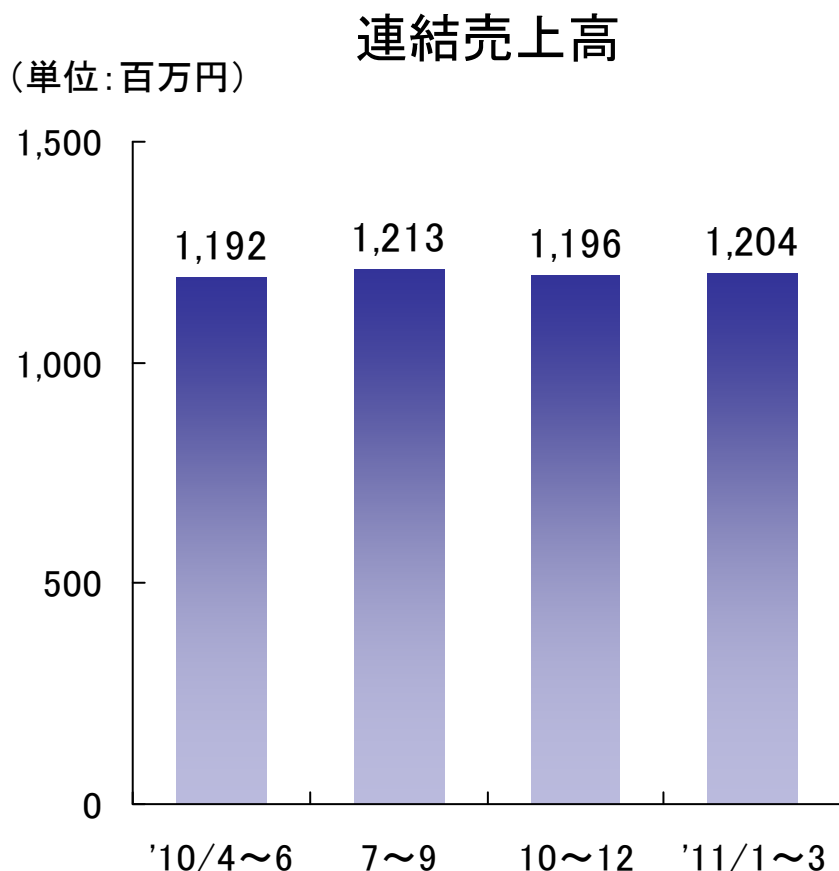
(単位:百万円)

連結利益実績

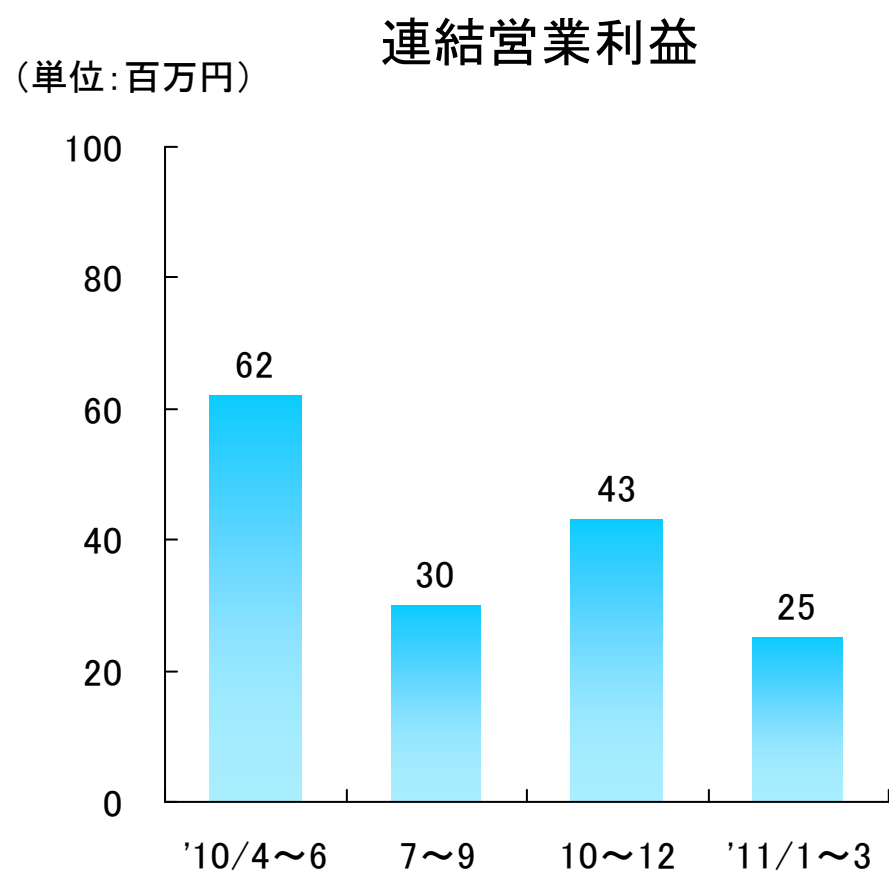


- スポーツ用ゴム製品の受注減や開発製品の遅れがあるものの医療用ゴム製品の受注増と生産効率化で増収増益。
- 東北地方太平洋沖地震による特別損失計上で当期純利益は減益

四半期会計期間の連結売上高・営業利益推移



- 自動車関連はエコカー補助金が終了したものの海外の需要が好調。
- スポーツ用ゴム製品の受注が減少したが、第3四半期から医療製品の新規受注に工場増築で対応



- 第2四半期は人件費増加の影響で第1四半期に比べて利益が減少した。
- 第3四半期はスポーツ用ゴム製品の受注減と開発製品の量産遅れで利益は減少傾向。
- 第4四半期は地震の影響で生産活動が一時停止したため売上原価が増加。

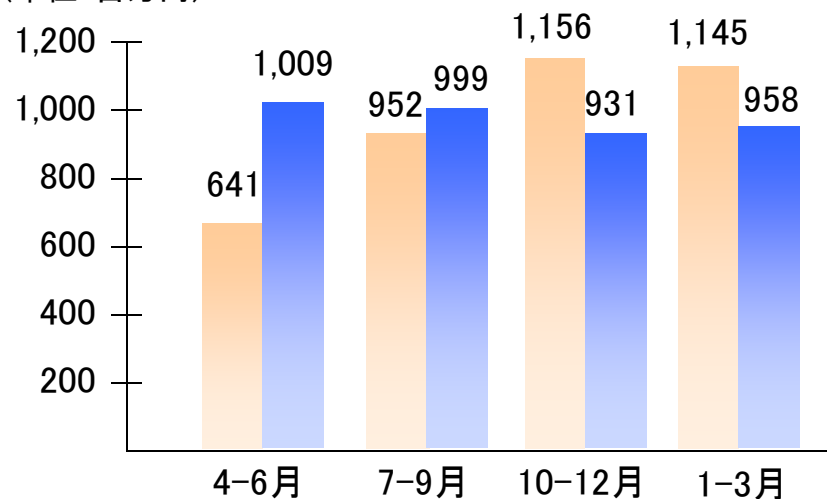
連結セグメント別決算実績

(単位:百万円、%)

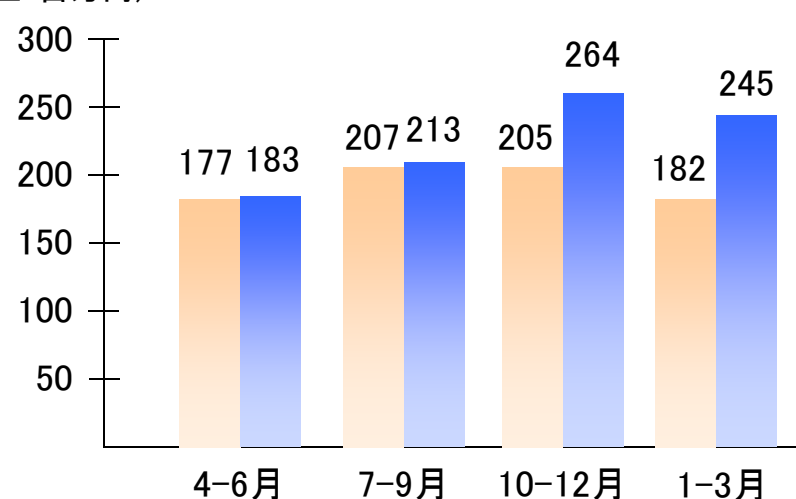
| | 2010年3月期 | | | 2011年3月期 | | |
|------------|----------|-------|---------|----------|-------|---------|
| | 売上高 | 構成比 | 前年同期増減率 | 売上高 | 構成比 | 前年同期増減率 |
| 工業用ゴム事業 | 3,895 | 83.4 | ▲5.3 | 3,898 | 81.1 | 0.1 |
| 医療・衛生用ゴム事業 | 772 | 16.6 | ▲2.4 | 907 | 18.9 | 17.5 |
| 売上高合計 | 4,667 | 100.0 | ▲4.8 | 4,806 | 100.0 | 3.0 |

2010年3月期 2011年3月期

(単位:百万円) 工業用ゴム事業 会計期間比較



(単位:百万円) 医療・衛生用ゴム事業 会計期間比較

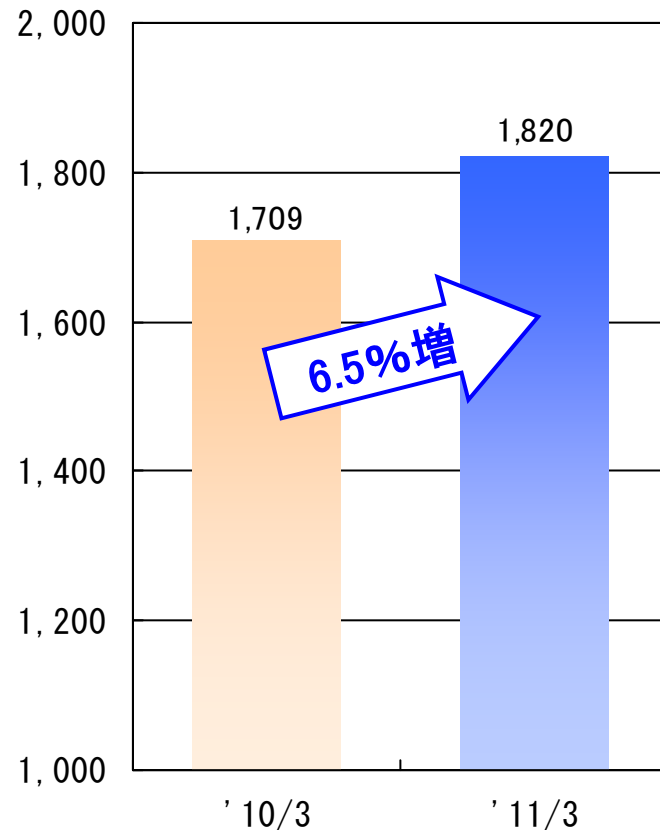


ASA COLOR LED

ASA COLOR LED

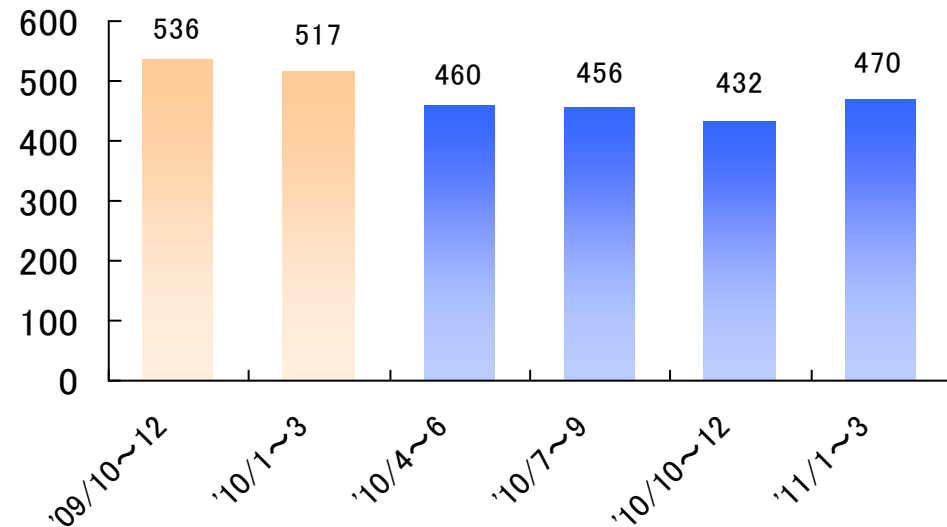
蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。

(単位:百万円) 連結売上高推移



- 前年同期比較では、自動車向けの受注が大幅に増加した

(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移

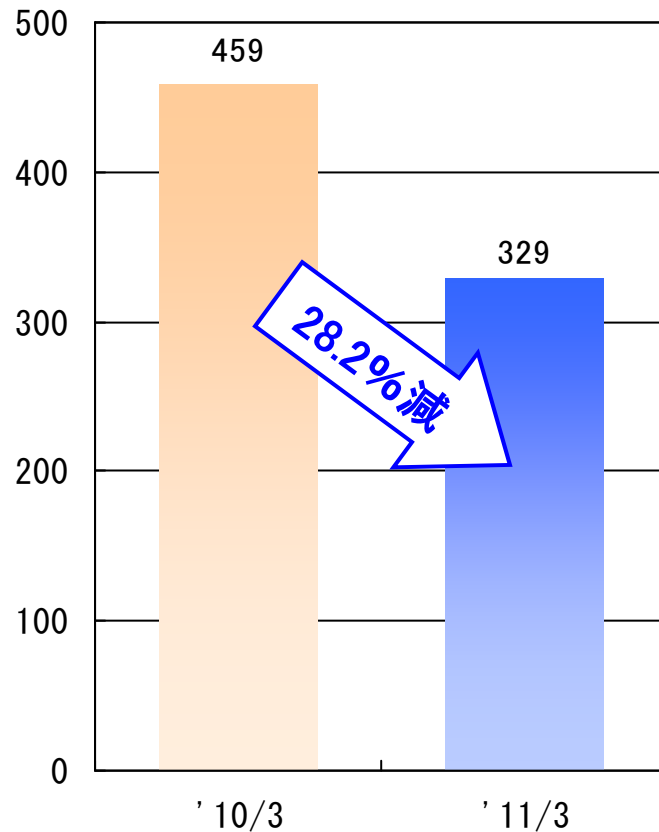


- リーマンショック後の自動車生産増加効果が薄れてきた
- 白河工場は被災せず3月15日から操業開始

スポーツ用ゴム製品

(単位: 百万円)

連結売上高推移



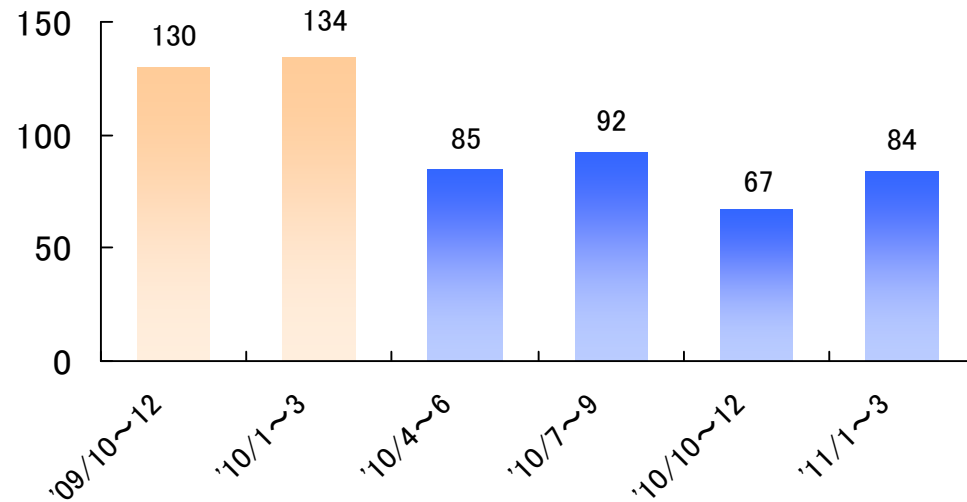
卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



(単位: 百万円)

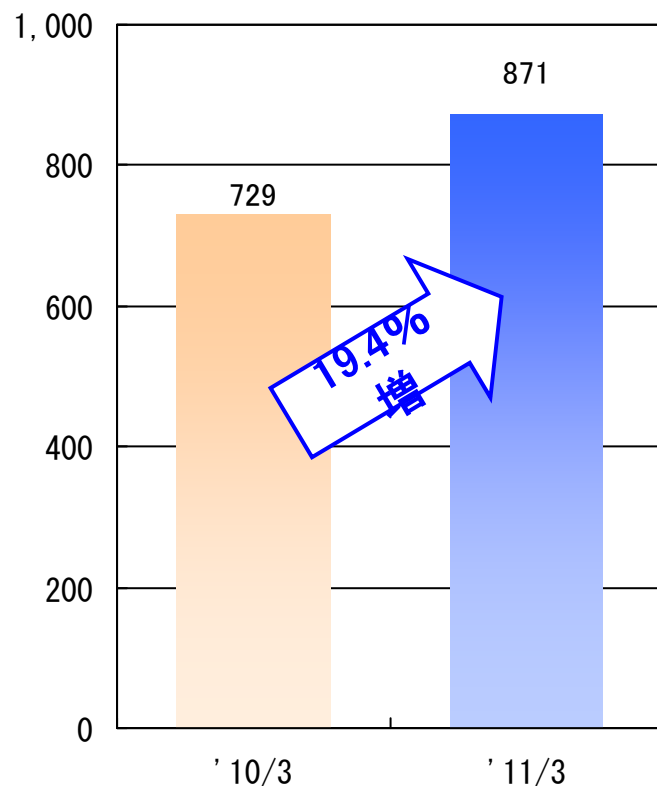
四半期会計期間の売上高推移



● 第3四半期('10/10~12)から顧客の販売戦略の変更で受注が減少

医療用ゴム製品

(単位:百万円) 連結売上高推移

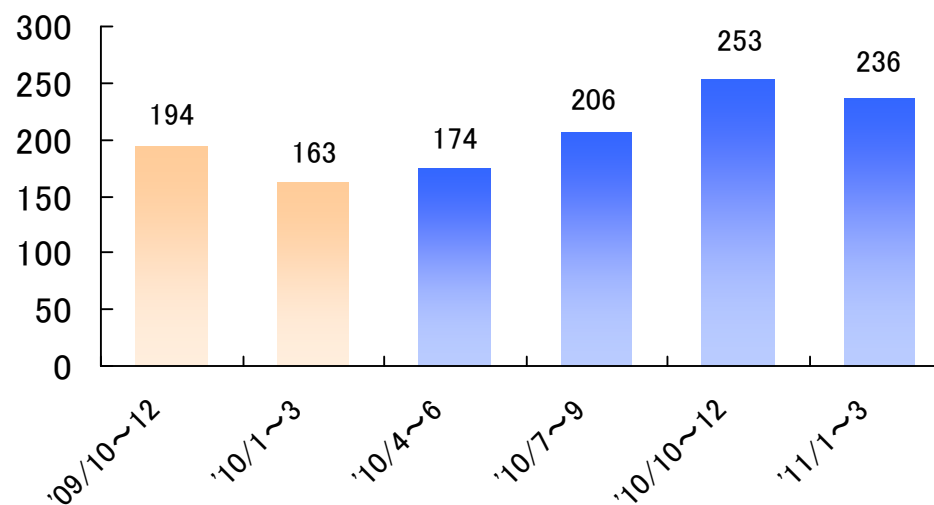


ディスポーザブル用ゴム製品

点滴輸液バッグ用ゴム栓や真空採血管用ゴム栓など、使い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。

四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



●新規顧客からの受注に対し、2010年9月に第二福島工場を増築して対応

連結子会社の決算状況

(単位：千円)

| | 株式会社ファインラバー研究所 | | ARI INTERNATIONAL Corp. | |
|----------|-----------------|--------|-------------------------|--------|
| 設立 | 1987年4月 | | 1999年6月 | |
| 資本金 | 10,000,000円 | | 200,000米ドル | |
| 業務内容 | ゴム・プラスチック等の研究開発 | | 工業用ゴム製品の販売 | |
| 研究収入／売上高 | 101,714 | 前期増減率 | 218,349 | 前期増減率 |
| | | 19.0% | | 40.5% |
| 経常利益 | 10,298 | 106.3% | 21,925 | 142.1% |
| 当期純利益 | 5,342 | 154.0% | 15,313 | 134.4% |

(単位：千円)

円換算レート：1米ドル87.32円

| | 朝日橡膠（香港）有限公司 | | 東莞朝日精密橡膠製品有限公司 | |
|-------|----------------|-------|----------------|-------|
| 設立 | 2005年11月 | | 2010年7月 | |
| 資本金 | 19,700,000香港ドル | | 16,880,388人民元 | |
| 業務内容 | 工業用ゴム製品の販売 | | 工業用ゴム製品の製造・販売 | |
| 売上高 | 209,665 | 前期増減率 | 1,206 | 前期増減率 |
| | | 35.8% | | - |
| 経常利益 | ▲3,488 | - | 95 | - |
| 当期純利益 | 44,941 | - | 71 | - |

円換算レート：1香港ドル11.24円

円換算レート：1人民元12.46円

連結貸借対照表の状況

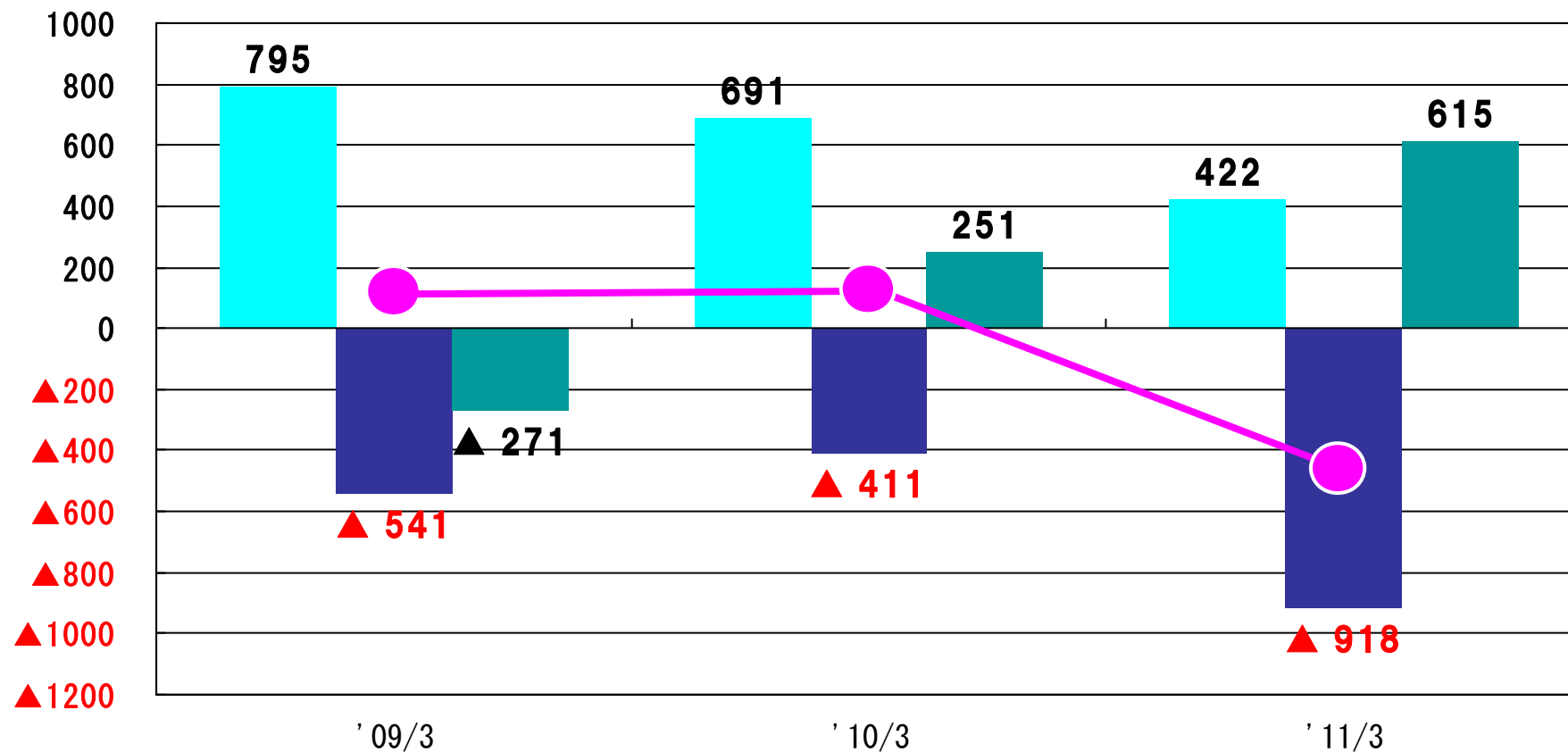
(単位:百万円)

| | ' 10/3 | ' 11/3 | 差 | 主な変動理由 |
|---------|--------|--------|------|---------------------------|
| 流動資産 | 3,660 | 3,803 | 143 | ・現金及び預金の増加298百万円 |
| 固定資産 | 3,828 | 3,874 | 46 | |
| 繰延資産 | - | 17 | 17 | |
| 資産合計 | 7,488 | 7,695 | 206 | |
| 流動負債 | 2,567 | 2,322 | ▲245 | ・白河工場土地代金返済による未払金減少270百万円 |
| 固定負債 | 2,060 | 2,558 | 497 | ・長期借入金の増加465百万円 |
| 負債合計 | 4,627 | 4,880 | 252 | |
| 純資産合計 | 2,860 | 2,814 | ▲45 | |
| 負債純資産合計 | 7,488 | 7,695 | 206 | |

連結キャッシュフローの状況

(単位:百万円)

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF



— フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー - 投資キャッシュフロー

1. 2011年3月期決算の実績

2. 2012年3月期の見通し

3. 第10次三ヵ年中期経営計画

2012年3月期業績予測の見通し

本日時点で2012年3月期業績予測は「未定」

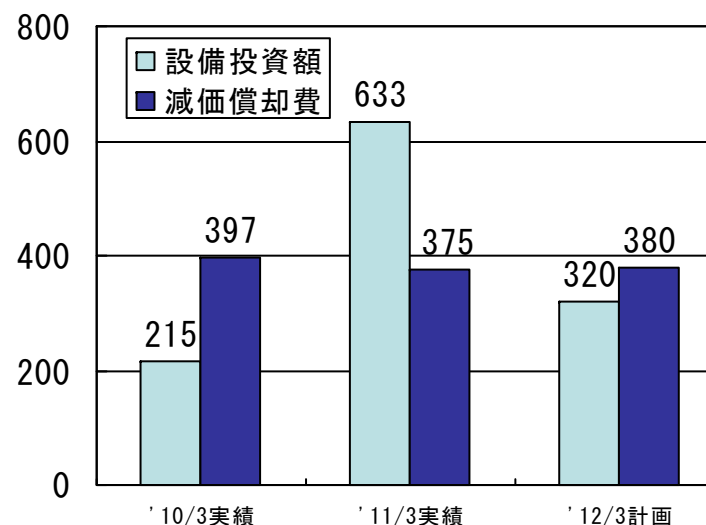
自動車メーカー及びティア1メーカーの今後の稼働情報、受注情報が入り次第開示予定

医療用ゴム製品、スポーツ用ゴム製品は2011年3月期比15%増の見込み

連結設備投資計画

設備投資額 約320百万円

減価償却費 約380百万円



配当計画

| | 2010年3月期 | 2011年3月期 | 2012年3月期 |
|------|----------|------------|----------|
| 中間配当 | 0円 | 3円 | 未定 |
| 期末配当 | 5円 | 3円 (予定) | 未定 |
| 年間 | 5円 | 6円 (予定) | 未定 |

1. 2011年3月期決算の実績

2. 2012年3月期の見通し

3. 第10次三ヵ年中期経営計画

第10次三カ年中期経営計画

1. 課題と中期基本方針
2. 中期事業戦略
3. 中期経営目標

1. 課題と基本方針 これまでの総括と課題

総括

収益力と強固な
財務基盤の構築の観点



安定成長の基盤が構築できていない

更なる利益創出の観点



新開発製品・新事業の
開拓が途上

課題 事業力の強化と企業体質の変革が必要

1. 量産品を中心としたコスト・品質・性能競争力の強化
2. 新開発製品・新事業への絞込みによる展開の加速（収益の拡大）
3. リソースの最適配分
4. 生産区分（国内・海外）（社内・協力会社）の最大効率化の追求

1. 課題と基本方針 ビジョン・基本方針・基本戦略

ビジョン

“新しい価値”を提供する真の中堅企業へ

基本方針

事業力の強化と企業体質の変革を成遂げ、
収益を向上させる

基本戦略

事業・企業体質・人財のバランスの取れた成長

2. 中期事業戦略 事業戦略

重点事業を

「照明関連事業」、「医療関連事業」、「機能製品関連事業」とし、ゆるぎない事業基盤とする。

1. 重点戦略製品と育成戦略製品

重点戦略製品：中期の中核

- ・資源の最優先配分
- ・応用製品・用途開発の推進

育成戦略製品：成長につなげる

- ・基礎研究とマーケティング
- ・現在の事業領域に縛られない展開

2. シナジー効果を追求したアライアンスの拡充

3. 既存事業は、強みを活かした重点志向

2. 中期事業戦略 照明関連事業の戦略

白色LED単価トレンド



※イメージ

現在、1WのLED: 90円⇒5年後: 65円⇒10年後: 30円
(現行価格の3分の1)

2. 中期事業戦略 照明関連事業の戦略

売上目標

2014年3月期 27億円 (2011年3月期 22億円)

中期の方向性

●色と光のコントロール技術を更に進化させて
新規需要を創造する

ターゲット市場

●自動車市場(車載インテリア)

●LED照明市場

●新照明市場の創造

重点施策

●開発技術強化(設計・光学・工法)

●シート形成工法の取得

●蛍光体改質技術

2. 中期事業戦略 照明関連事業の戦略

重点戦略製品

【LED】

- ・**蛍光体シート**
- ・**蛍光体応用製品**

【LENS】

- ・LED+LENS複合製品
- ・レンズアレイ

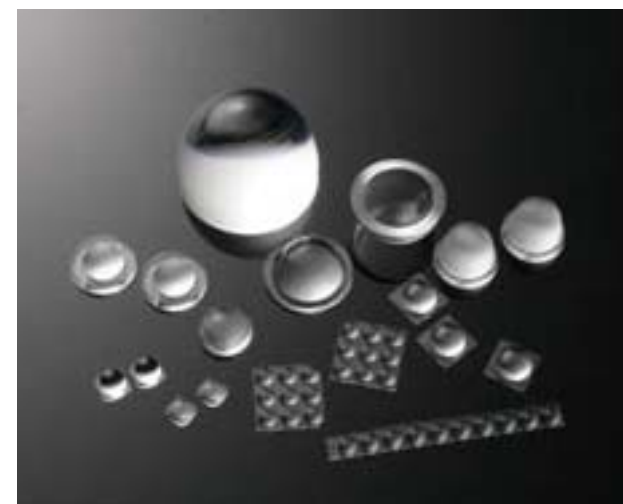
既存製品

【LED】

ASA COLOR LED

【LENS】

- ・単LENS



ASA COLOR LENS

2. 中期事業戦略 医療関連事業の戦略

売上目標

2014年3月期 12億円 (2011年3月期 8億円)

中期の方向性

●表面改質技術と素材変性技術の追求

ターゲット市場

●ディスプレイ医療機器

重点施策

●第二福島工場増築エリア案件の早期量産化

●薬剤に応じた低毒性・低摺動ガスケットの実現

●次期ステップに向けた製造設備の充実

重点戦略製品

●プレフィルドシリンジガスケット

●ニードルレス機器

●メディカルシリコーン関連

2. 中期事業戦略 機能製品関連事業の戦略

売上目標

2014年3月期 23億円 (2011年3月期 18億円)

中期の方向性

●アジア地域の同じ市場に入り技術で勝負

ターゲット市場

●自動車関連

●情報通信関連

重点施策

●福島工場生産品(接点ラバー、Oリングetc)の再編

●接着複合製品の量産化実現

●表面改質、素材変性技術の進化と応用による新規需要の創造

重点戦略製品

●卓球ラケット用ラバー

●微小圧コントロールバルブ(電池用ゴム)

●RFIDタグ

2. 中期事業戦略 海外ビジネスの強化拡大

重点施策

1. 成長する海外市場での収益拡大

北米・中国市場

自動車関連製品

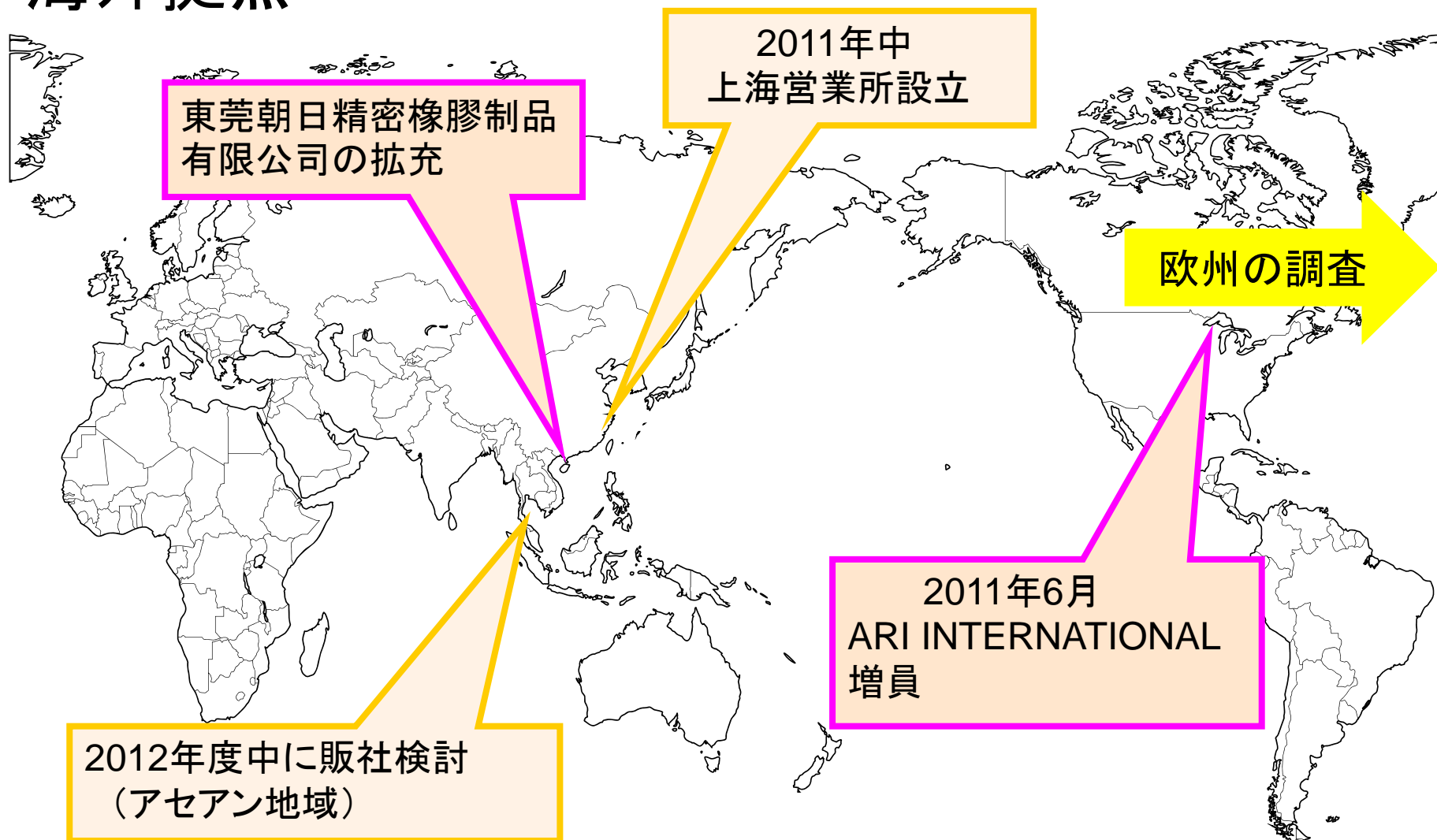
照明関連製品

2. 海外でさらに事業展開できる基礎づくり

3. 海外での収益は国内の次世代製品開発の 原資とする

2. 中期事業戦略 海外ビジネスの強化拡大

海外拠点



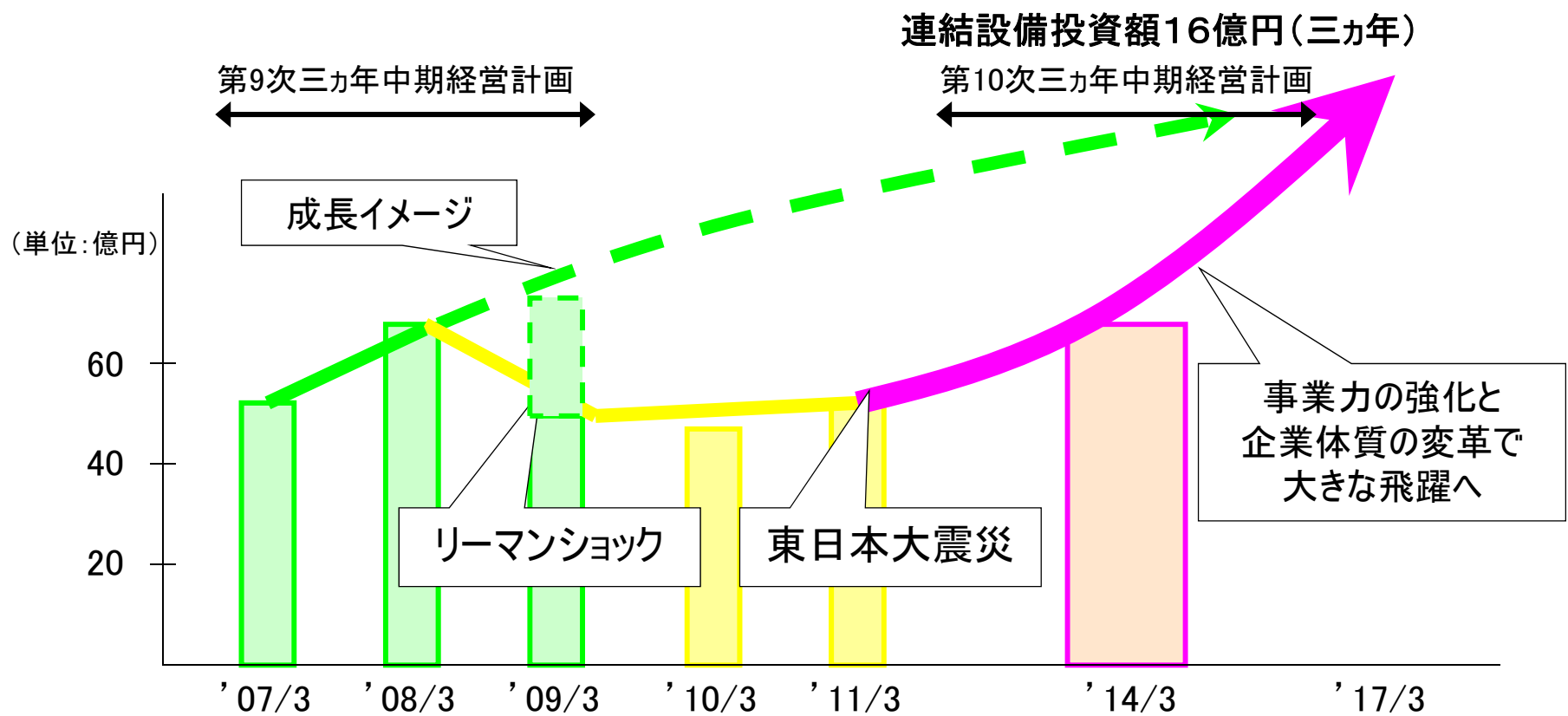
2. 中期事業戦略 海外ビジネスの強化拡大

自動車・照明関連企業の集積地



3. 中期経営目標

| 連結 | 2011年3月期実績 | 2014年3月期目標 |
|------|------------------|----------------|
| 売上高 | 48億円 | 62億円 |
| 営業利益 | 1.6億円(営業利益率3.4%) | 4億円(営業利益率6.5%) |
| 経常利益 | 1.1億円 | 3億円 |



お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先
株式会社朝日ラバー 管理統括部本社管理グループ
TEL 048-650-6056
E-Mail ir-mail@asahi-rubber.co.jp